

幸袋校小学部だより

令和5年3月10日(金)第22号
小学校長 松隈 崇世

学校教育目標 自ら学び、仲間とともに夢の実現をめざして挑戦する子どもの育成

【自律】自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、行動し、自分の学びを高め続ける子

【協働】自他に優しい思いやりの心とスキルを持ち、人間関係を豊かに築き自分の力を他者のために活かそうとする子

【創造】前向きな生き方や目標を持ち、実現に向けて意欲的に取り組む子

6年生 算数パスポート

6年生はすべての学習内容を終え、まとめの学習の時期です。中でも算数科は、習熟度別に5つのグループに分かれ、担任外の先生方も入って、徹底した復習と定着のための学習「算数パスポート」を行いました。しっかりと力を付けて中学部へ上がろうと、子どもたちは皆一生懸命でした。忘れてしまっている学習を取り戻したり、わからないままになっていた学習がわかるようになったりと、子どもたちにとってとても大切な時間となっていました。



ほかの教科についても同じようにやればよいのですが、残念ながら時間にも人手にも限りがあります。他の教科については、5分間プリントを使って朝の学習の時間や自学の中で復習を行ったり、たしかめテストを使った繰り返しチャレンジで力を付けたりしています。

自学の話が出ましたが、お子さんはおうちでどのくらい学習をしているでしょうか。6年生の家庭学習の目安は、10分×学年+10分で、70分間です。学校での学習に加えて、家庭でも課題（苦手な学習）の克服ができるようになれば、基礎学力の定着は確かなものになると考えます。中学からはこの自学の力が、進路を左右します。自分の未来を勝ち取るための大きな力となるのです。声掛け、励まし、称賛をお願いします。

いくら子どもを慈しむ気持ちが強くても、ずっと傍にいてやることはできない。彼らは必ず巣立っていく。助けてくれる人がいなくなった後でも一人でできる力をつけておいてやるのが限られた期間の中で子どもを預かり育てる者の責任だろう。「自分でやる」練習を積ませるのが学校や家庭の役割ではないか。

「内外教育」2014年4月15日より



今、学校で・・・。

私も32年前、初々しいころがありました。新任で3年生を担当していた時は、連絡帳が何かも知らず（自分が子どものころにはなかったので・・・）、保護者に「先生、連絡帳はないんですか？」と尋ねられ、「それ何ですか？」と聞き返す有様。しかし、最初の懇談会で、「情熱しかありません。一生懸命頑張ります。」と話した私に、保護者の皆さんは、「それさえあれば十分です。」と笑顔で言ってくださいました。教え子は今、ちょうど小学生の子をもつ親の年頃になっています。その教え子たちが、「先生に教えてもらいよった時、先生（今の自分たちよりもずっと若い）24歳やったん!？」と笑います。そんな若造に教えられていたのか・・・と思うようです(^_^;)。そんな私は、子どもたちに、保護者の皆さんに、そして同僚たちに、たくさん教えてもらい褒めてもらって、少しずつ一人前になれるのだと思います。

大道芸の世界では、「お客が芸人を育てる」という言葉があるそうです。もちろん芸人も一生懸命努力し、練習します。でもそれだけではよい芸人にはなりません。お客が芸を楽しみ、芸人に「いいぞ!」と声をかけ、褒めて乗せることで、芸人のやる気や良い芸を引き出すと言われています。芸人はお客さんに褒めてもらってこそ良い芸人になっていくのです。つまり、双方の働きかけが大切だということです。できていないことばかりを責め、文句ばかりを言っていたら、その芸人は潰れてしまいます。

今、学校現場では、若い先生が急速に増えています。先生方には、子どもに寄り添い、保護者の方々の言葉に耳を傾けて、「今、子どもたちのためにすべきことを一所懸命に行うことができる教師になりなさい。」と日頃から話しています。先生方は日々、子どもたちと向き合い、生徒指導や学習指導を行っていますが、それでも、時にいろいろなことが起こります。もちろん、子どもたちのために先生に言わなければいけないことは言わなければなりませんし、教師側に改めるべきことがあるならばきちんと改めなければいけません。言っていただいてこそ有難いですし、それは大事なことです。しっかり受け止めて解決に努めます。しかし、時には、日々悩みながらも多くの時間を子どものために使い、頑張る先生方を認め、褒めていただけると嬉しいです。

※学校評価の一言欄にて、たくさんの労いの言葉、感謝の言葉をいただき、温かい気持ちになりました。先生方の励みになります。ありがとうございました。



卒業に寄せる思い

今年の6年生は、小中一貫校幸袋校第1回の入学生で、一貫校で6年間を過ごした初めての卒業生ということになります。1年生の頃、一貫校として開校していたとは言え、まだ運動場はできておらず、閉校になった飯塚第三中学校の運動場までバスで体育をしに行っていました。子どもたちは覚えているでしょうか。

1年1年、たくさんのことを経験し、たくさんのことができるようになりました。楽しいことだけでなく、つらいことや悲しいことがあった人もいます。そのすべてを自分の糧とし、今年3月16日、晴れの日を迎えます。幸袋校の中学部に進学する人、他の中学校に進学する人、様々な中、幾人かの友と別れ、今まで共に過ごした先生方も別れ、新たな道を歩み始めます。自分の良さに自信をもち、さらに力を付け、自分の夢の実現に向けて一步一步頑張っていってほしいと思います。



6年生を送る会

【1年生】

1年生は、「くじらぐも」のお話に乗せて、6年生へメッセージを送りました。一人一人の声がとっても大きくて、みんなで声を合わせるところも揃っていて、ありがたいの気持ちがよく伝わりました。入学したばかりのころ、6年生にたくさん助けてもらいましたからね。しっかりと感謝の気持ちを伝えることができました。

くじらぐもに乗って中学生になった6年生を見に行く場面では、歌が楽しくて、一緒にくじらぐもに乗って中学部を覗いている気分になりました。1年生の発表はとても立派で、入学したての4月に比べて、本当に成長したなあと感じました。



【2年生】



2年生は、日頃のたくさんの「ありがとう」を6年生に伝えました。また、歌「ビューティフルネーム」をプレゼントしました。この歌は、一人一人がそれぞれの名前を持った、かけがえのない存在だと歌った歌です。6年生一人一人の名前を呼びかけ、中学生になっても自分を大切に、友達一人一人を大切に頑張りたいという気持ちを伝えました。その思いは、しっかり伝わったと思います。

【3年生】

3年生は、運動会でのダンスやリレーでの6年生のカッコよさや、バスで席を譲ってくれた・などの日頃のさりげない優しさを見つけて伝えてくれました。そして、そんな優しくカッコいい人になりたいと伝えました。ぜひ、そうなってください。そして6年生は、その言葉に恥じない優しくカッコいい中学生になってください。

また、3年生で初めて覚えたリコーダーで、ミッキーマウスマーチの合奏をしました。曲に合わせたダンスもかわいかったです。とても上手でした。一生懸命に練習したからだと思います。6年生も中学で新しいことや難しいことに出会うでしょう。3年生のように新しいことにもチャレンジして諦めずにできることを増やしてほしいと思います。



【4年生】

4年生は、クラブ活動での「さすが!」と思える上手なところや、優しくお世話してくれたことを伝えました。特に、困っているときに下級生に寄り添い、『話を聞いてくれた。』『教えてくれた。』『見守ってくれた。』『支えてくれた。』など、6年生の『人を思う優しさ』がたくさん聞かれ、それが何よりも素敵なことだと思い、うれしかったです。また、4年生も、人の心の奥深いところにある優しさや良さを見つけることができたようになったんだと思うと、これまたうれしかったです。

【5年生】

5年生は、これまでの日々を楽しい劇にして発表してくれました。恥ずかしさを振り切って人を楽しませてくれるその姿、大好



きです。また、「大切なもの」の合唱は、さすが5年生だと思わせてくれるすてきな二部合唱でした。6年生も、歌が始まると、シーンとなって聴き入っていました。

来年は最上級生、「任せて大丈夫!」と思える素晴らしい姿でした。

【6年生】

6年生は、在校生に向けて今までの出会いとたくさんの思い出に感謝の気持ちを伝え、これからはバトンを受け継いで、すばらしい幸袋校にしてほしいという気持ちを伝えました。必ずそのバトンは受け継がれていくと思います。今日進行をしてくれた新旧児童会のメンバーの素晴らしい姿は、6年生がモデルを示し、教えてくれたものです。「今までありがとう。そして中学生になってもそれぞれの場所で頑張ってください!」

熟年学び塾の皆さんからは、6年生一人一人に、手作りのキーホルダーをいただきました。以前、集合形式で「6年生を送る会」が行われていた時は、熟年学び塾の方々にも会に参加していただき、直接6年生にプレゼントを手渡ししていただいていたのですが、ここ数年それが叶わず、担任の先生から配っていただいています。

たくさんの人々から大切にされ、卒業していくのだということを6年生には覚えていてほしいですね

3学期も様々な学年行事がありました

3学期には「親子で学ぶ～」をコンセプトにした幾つかの学習が行われました。

2月3日には、5年生で「親子で学ぶ規範意識教室～インターネットの適正利用」の学習がありました。インターネットはとても便利で素晴らしい道具ですが、使い方を間違えると、依存症になったり、犯罪に巻き込まれたりします。SNS等で友達を深く傷つけてしまうかもしれません。家庭でルールをつくり、そのルールをしっかり守って上手にインターネットを利用したいですね。

1月22日には1年生が「親子で学ぶ性教育」を行いました。命はどうやって生まれたのかを学び、そして同時にその命は代わりのないかけがえのない命であることを学びました。大切にされ生まれてきた命を、自分自身がそしてみんなが互いに大切にしていこうという気持ちを育てました。3月2日には5年生も同じゲストティーチャー（県立大学の道園先生）から性教育を受けています。

4年生は、伝統工業の学習の発展学習として、小石原から陶芸家の方(梶原さん)を招き、陶芸体験を行いました。粘土から様々な形を生み出し、生活用品に活用してきた先人の知恵に触れ、多くのことを学ぶことができました。

6年生では、「読み聞かせファイナル」が行われました。毎週読み聞かせに来ていただいている「はっぴいぶっくろ」さんに、毎年この卒業の時期に、6年生に送る「読み聞かせファイナル」をしていただいています。思いのいっぱい詰まったお祝いメッセージ、本当にありがとうございます。子どもたちも大変喜んでいました。



1年生
性教育



4年生
陶芸体験



6年生
読み聞かせ